

介護保険制度の方向は



有害鳥獣被害の対策は 万全の支援体制で

介護保険の見直しは 関係機関との連携が必要

質問 予想される被害。その対策と期待できる効果は。

答弁 鹿の被害が最も多く、猿、イノシシの順となっており、被害金額は



小池 一夫 議員

約1100万円となっています。

対策は、町猟友会の協力を得ての駆除、忌避剤、花火の配布、防護策設置、資材支給を行っています。柵を設置した花場地区では被害は報告されていませんが、他地区では被害が一向に減らないのが現状です。

今のところ追い払う以外対策のないのが現状です。基本的に農家主体で



小林 節子 議員

質問 「新介護予防サーピス」の創設ではケアマネージャーを民間事業者から市町村に担わせる方針を固めているが、この見直しは。

答弁 17年の法改正に向けて作業が進められていくと想定されています。このことは今、国会の委員会会で詰めている段階です。

サーピスについては、

軽度者の状態の改善、悪化防止に必ずしもつながっていないと言う指摘があり、新予防給付として個々の状況に応じたサーピス計画の樹立実践評価を求める提言がされています。

市町村としては保健福祉に関する専門的職員の配置、人材の確保等、解決課題も残っていることと、関係機関との連携が必要とされています。

実務面については、地域事業者との委託等も含めて、検討課題があります。

過去5年間についての総括では、法改正が進まない中で、若干の混乱を生じた経過がありますが、諏訪広域圏全体で取り組んでおり、現在は順調に推移していますが、在宅と施設介護のあり方が十分議論されていかなければなりません。

体育施設の充実構想は 協議の中で検討を

質問 海洋センター周辺の体育施設充実構想は。

答弁 スポーツ公園を総合的に充実したい体育行政の要望はもっています。多額な費用を要するものは困難です。

スポーツ施設に対する国の補助の有無や景気の動向を見定め、町全体の計画の中で十分な納得の上で立ち上げていくことが大切だと考えています。